

## Project 2 友達にインタビューをしよう

本単元で育成する資質・能力

「主体性」「協働的課題解決力」「振り返り力(メタ認知力)」

日 時 令和2年12月16日(水) 6校時(15:00~15:50)  
場 所 1年A組教室  
学年・組 第1学年A組(男子16名, 女子12名, 計28名)

### 単元について

本単元は、学習指導要領における「(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項」の「イ聞くこと」の「(エ) 友達や家族、学校生活などの日常的な話題や社会的な話題に関する会話や説明などを聞いて、概要や要点を把握する活動。また、その内容を英語で説明する活動」と「エ話すこと [やり取り]」の「(ア) 関心のある事柄について、相手からの質問に対し、その場で適切に応答したり、関連する質問をしたりして、互いに会話を継続する活動」と「カ書くこと」の「(ウ) 日常的な話題について、簡単な語句や文を用いて、出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動」を組み合わせることで、相手から多くの情報が得られること、またインタビューで得られた情報を書いて他者に伝えることで、生徒が苦手とする書く活動につなげることができる単元である。

### 生徒観

本学級の生徒は、授業規律が確立されており、落ち着いて授業に取り組んでいる。グループ活動よりペア活動を取り入れることが多く、ペアで単語や基本文の読み合い、本文の内容理解、本文の音読テスト、インタビューなどの活動を行っている。ペア活動はおおむねよく行っているが、英語を苦手とする生徒同士のペアでは活動が止まってしまうことが多く、意図的ペアを作る必要があると感じている。

また、7月に実施した授業アンケートの結果を見ると、「授業では、解決しようとする課題について、『なぜだろう』、『やってみよう』と思います」の項目で肯定的回答した生徒は全体の95%を超えていて、意欲的に授業に取り組む生徒が多い。しかし、「授業では、課題を解決するために情報を集め、それを比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して考えています」

「授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表をしています」の項目で肯定的回答をした生徒は全体の半数程度、また「授業では、わからないことや疑問に思ったことをグループ内で聴き合うことで、考えを深めています」では肯定的回答をした生徒はほとんどいなかった。授業の大半をインプットの活動に費やし、アウトプットの活動をほとんど行っていないことがこの結果に結びついていると考えられる。

## 指導観

### 【本校の育成しようとする資質・能力】

- 主体性（自ら課題を見いだす力）
- 協働的課題解決力（協力しながら課題を解決する力）
- 振り返り力（メタ認知力）

前述の通り、アウトプットの活動をどう授業の中に取り入れていくかが課題である。そのため指導にあたっては、以下の工夫を行う。

#### (1)主体性を高めるための指導の工夫

- ・この单元では、今までの既習表現を使って話す・書くの活動を中心に行うことを伝え、パフォーマンス課題を提示して表現することへの意欲付けを行い、見通しを持って取り組ませる。
- ・マッピングシートを活用して相手に聞きたいことを系統立てて考えさせる。

#### (2)協働的課題解決力を高めるための指導の工夫

- ・ペアでのインタビュー活動とその活動を聞いて記録、付け加えを行うもう一つのペアの動きを組み合わせ、客観的な意見を取り入れながら、情報を分類したり関係付けたりしやすくする。
- ・インタビューが行き詰まったときは、もう一つのペアに聴きながら会話を続けられるようにする。

## 単元の目標と評価規準

### <単元の目標>

- ・読み手が興味を持てるような工夫をしている。
- ・既習の文法事項を用いて、相手に正しく伝わるように話すことができる。
- ・課題解決に必要な情報を取捨選択し、既習の文法事項を用いて、相手に正しく伝わるように書くことができる。
- ・紹介文を聞いたり読んだりして、情報を正しく理解することができる

### <評価規準>

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
・読み手が興味を持って読む紹介文はどんなものかについて積極的に考え、意見を述べている。	・1つの話題について質問をつないで情報を聞き出すことができる。 ・ペアを紹介する文をつながり意識して6文以上で書くことができる。	・一般動詞やbe動詞を用いて相手が尋ねたり答えたりした内容を聞いて意味を把握することができる。 ・紹介文を読んで正しく理解することができる	・一般動詞やbe動詞の現在形の文を理解することができる。 ・読み手が興味を持つ紹介文はどんな特徴があるかを理解し、そのための情報収集の方法が分かる。

## 指導と評価の計画

○本単元で身に付けさせたい資質・能力と評価規準

資質・能力	主体性 (自ら課題を見いだす)	協働的課題解決力	振り返り力	【I E D E Cモデル】	
	<p><b>【課題発見と解決】</b></p> <p>○読み手が興味を持ち、理解しやすい文にするには、同じ話題で分類したり、接続詞を使って関連付けたり、例を挙げて根拠を明らかにしたりするといったことを理解している。</p>	<p><b>【つながり】</b></p> <p>同じ話題でより具体的な情報を集めるために、Yes No で答えられる質問から What, When, Where などの疑問詞ではじまる疑問文を使っている。相手に説明するときは、接続詞は and だけでなく but や so, for example など前後の文を関連づける接続詞を使って書いている。</p>	<p><b>【応用・ひろがり】</b></p> <p>実際にいろいろな場面でプレゼンをするときに、必要な情報を取捨選択したり、情報をまとめる際に比較、分類、関連付けを行って聞き手が興味を持ち、納得する説明ができる。</p>	(全 3時 間)	
	<p>相手の紹介文を書くために既習の表現を選択している。</p>	<p>味を持ち、理解しやすい内容の紹介文を書くために他の人がどんな表現や接続詞を使っているかを参考にして、自分なりに工夫して書いている。</p>	<p>ていると実感している。</p>		
C (つながり)	<p><b>【考える・議論する】</b></p> <p>○他にどんな質問やまとめ方をすれば読み手が興味を持ち、理解しやすい内容の紹介文になるか他者の意見を聴き、議論している。</p>	<p><b>【多面的・多角的】</b></p> <p>○聴き合い協働しながらさらに読み手が興味を持ち、理解しやすい紹介文を書くために、質問を出し合ったり、接続詞を工夫したりしている。</p>	<p><b>【他とのつながりを理解】</b></p> <p>○読み手が興味を持ち、理解しやすい内容にする方法は他にもあることを実感している。</p>		
E (応用)	<p><b>【学びに向かう力】</b></p> <p>○読み手が興味を持ち、理解しやすい表現とは何かを意識して生活しようとしている。</p>	<p><b>【未知の状況への対応】</b></p> <p>○相手に何かを伝える時、どんなことに注意すれば相手が興味を持ち、理解しやすくなるかを、他の人のスピーチやプレゼンを参考して考えることができる。</p>	<p><b>【学びを生かそうとする力】</b></p> <p>○読み手や聞き手が興味を持ち、理解しやすい内容にするにはどうすればいいかを日常生活の中で常に考えることは大切だと実感している。</p>		
次	学習活動	観点 関 表 理 知	生徒の思考の流れ	評 価 ◇評価規準 ★資質・能力(評価方法)	
1	<p><b>課題の設定</b> 本時の目標:パフォーマンス課題を知り、解決するための手段や方法について教科書のモデル文から考えることができる。</p> <p>○パフォーマンス課題の確認をする。 ・これから何に取り組むかを話す。 ○読み手の興味をひく紹介文はどんなものかグループで意見を出す。 ・教科書の久美とラーズのインタビューを聞いて、インタビューの仕方を知り、得た情報のまとめ方を考える。</p>	○	<p>・どんな情報なら読み手が興味を持って読むだろうか。 ・どんなまとめ方をすれば理解しやすい文になるだろうか。 ○・WhatやHow manyなどの疑問詞で始まる疑問文でより具体的に尋ねているな。</p>	<p>◇どんな内容にしたら読み手が興味を持つかを積極的に考えて意見を述べている。(行動観察)</p> <p>◇相手が興味を持って読む情報はより具体的な内容が含まれていることに気づき、それをたずねる疑問詞で始まる疑問文をいくつか挙げるができる。</p>	

					(行動観察, ワークシート) ★既習の文法事項を振り返り, 応用していくつかの疑問文を考えつことが出来る。(行動観察, ワークシート) 【主体性】
	(単元を貫く課題) 読み手が興味を持って読み, 理解しやすい英文を書くにはどんなことに気をつけたらいいかを考え, 6文の英文で書くことができる。				
2	<b>情報の収集</b> 本時の目標: 読み手が興味を持って読める6文以上の紹介文を書くための情報をインタビューを通して収集できる。				
本時	○質問する表現を話題別にまとめたインプットのプリントを使って音読練習する。 ○インプットの中で自分が使いたい表現はどれだろうか。一部を変えたら使える表現はないだろうか。 ○ペアの相手にインタビュー ・もう一つのペアはそのインタビューを聞きながらアドバイスをしたり付け加えの質問をする。 ・インタビューをしながら質問してわかったことをマッピングシートに記録する。		○	○	◇1つの話題について複数の情報が得られるように, また6文以上の紹介文が書ける情報が得られるようにペアの相手に英語で質問している。(行動観察, ワークシート) ★わからないところはもう一つのペアに聞きながら, インタビューを英語で続けて, 1つの話題について複数の情報を得ている。 【協働的課題解決力】 ◇インタビューの内容を聞いて意味を把握することができる。 (行動観察, ワークシート)
3	<b>まとめ・創造・表現</b> 本時の目標: 読み手が興味を持って読み, 理解しやすい英文を書くにはどんなことに気をつけたらいいかを考え, 6文の英文で書くことができる。				
	<b>パフォーマンス課題</b> ・単元を貫く課題を解決する。 ○得た情報を取捨選択する。 ○話題ごとに分類する。 ○文と文を関連づけながら6文以上の紹介文を書く。 ○もう一つのペアからアドバイスをもらう。		○		・どの情報について書こうかな。 ・話題ごとに分類したが, どの順番で書いたらいいかな。 ・既習の表現のどれを使ったらいいかな。 ・接続詞をどこにいれたら文と文を自然な形で関連づけられるかな。 ◇得た情報を話題ごとに分類し, 文と文を関連づけながら, 6文以上の英文で紹介文が書けている。(ワークシート) ★他の人の紹介文のいいところを見つけたり, もう一つのペアのアドバイスを参考にして, 自分の紹介文を改善している。 【協働的課題解決力】

## パフォーマンス課題

育てたい資質・能力	主体性, 課題解決力(探究力), 振り返り力(メタ認知力)
教科の評価規準	・読み手が興味を持つ情報を集め, 6文以上の英文で読み手が理解しやすい内容の紹介文が書ける。

### パフォーマンス課題のシナリオ

学級新聞に1Aの生徒全員の紹介文を英語でのせようと思います。できるだけみんなが知らない内容を相手から聞き出し、「へえ～、そうなんだ！」と読者に言わせる記事を書いてください。

#### 条件

全員が1Aの生徒1人ずつ相当し、6文以上の英文で説明する。

### 予備的ルーブリック

尺度(レベル)	記述語(パフォーマンスの特徴)
3 理想的	話題ごとに具体的な情報を入れ、つながりを考えながら6文以上の文でまとめられていて、接続詞が2回以上使われている。
2 合格	6文で書けていて、1つの話題につき2文は書けている。接続詞が1回使われている。
1 乗り越えさせたい実態	6文書けていない。1文ごとに話題が変わっている。

## 本時の学習

(1) 本時の目標

読み手が興味を持って読める6文以上の紹介文を書くための情報をインタビューを通して収集することができる。

(2) 本時の評価規準

1つの話題について質問をつないで情報を引き出すことができる。【外国語表現の能力】

(3) 準備物

インプットシート, マッピングシート, 電子黒板, PC, 辞書

(4) 本時の展開

学習活動 「生徒の思考の流れ」	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準(評価方法)	資質・能力(評価方法)
<b>1 ウォーミングアップ [5分]</b>			
○Greeting ○前時の振り返りの紹介			
<b>2 本時の課題を確認する。 [5分]</b>			
○課題を把握する。 インタビューの悪い例を示す。 ・インタビューをするときは, がんばって英語を使おう。 。 ・つながりのある質問をするのがいいんだな。			
紹介文(6文)を書くために, 日本語を使わずつながりを意識してインタビューをすることができる。			
【本時の目標】 ○インプットのプリントで例を示す。 ・なるほど, 相づちを打ったり, さらにくわしく聞いたらいいんだな。	◇学級新聞にするので, 「へえ~, そうなのかあ。」といえるような新しい情報を入れるよう留意させる。 ◇1つの話題について少なくとも2文は書けるように, 関連した内容について質問するよう留意させる。		
<b>3 インタビューをして情報を集める。 [35分]</b>			
○質問内容を考える。 ・インプットのプリントのどの表現が使えるかな。 。 ・この話題をもっと続けるにはどんな質問ができるだろうか。 ・この質問に対して相手がYesと答えたら, 次に何て聞こうかな。 ・Noと答えたら, 新たにどんな質問をしようかな。 。	◇話題を3つまでにしぼらせる。 ◇インプットの質問例を参考にさせる。 ◇相手の返事を予測して次の質問を考えさせる。 ◆机間指導をして個別に声をかける。 。 ・どんな質問をするか決めれない生徒には, インプットの例文をいくつか示す。 ・どんな質問をしたいか日本語で聞いて, 英語にする手助けをす	1つの話題について2つ以上の質問が考えられている。 。 【外国語表現の能力】	インプットの質問例を参考してどんな質問をするか決めている。(行動観察, ワークシート) 【主体性】

<p>・野球が好きなのはみんな知っているから野球に関する事でみんなが知らないことって何だろう。それとも野球以外で好きなものが何か知りたいな。</p> <p>○インタビューをしてわかったことをメモする。</p>	<p>る。</p> <p>◇4人グループで片方のペアが会話しているときはもう片方のペアはその会話をきいてマッピングシートにメモをする。</p> <p>◇会話を聞いて記録しているペアがアドバイスや質問をしてもいい。</p> <p>◆質問に行き詰ったらもう一つのペアにアドバイスを求める。</p>	<p>ペアの相手に質問して1つの話題について複数の情報が得られていて、なおかつ6文書ける情報が得られている。(マッピングシート)</p> <p>【外国語表現の能力】</p>	<p>質問に行き詰ったらもう一つのペアに聴きながら必要な情報を英語で聞いている。(行動観察, マッピングシート)</p> <p>【協働的課題解決力】</p>
<p>4 学習のまとめをする。 [5分]</p>			
<p>○マッピングシート of 情報を参考にして, 紹介文の書き出しの1文を振り返りシートに書く。</p>			
<p>5 次時の予告をする。 [5分]</p>			
<p>○振り返りを書く。</p> <p>○次時は今日のマッピングシートを見ながら紹介文を書くことを知る。</p>	<p>◇疑問に思ったことがあれば記述させる。</p>		